

地域母子保健研修会 5.

「多機関連携による要保護・要支援児童、特定妊婦の支援」日程表

- < 対象 > 母子保健分野、児童家庭母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健、助産師・看護師
保育士・社会福祉士・心理士等
- < 期間 > 令和6年10月11日(木)～10月12日(金)
- < 定員 > 会場 50名 / Web 60名
- < 目的 > 子育て世代に対する包括的な支援体制の強化として、母子保健と児童福祉部門を一体化した
「こども家庭センター」設置がすすんでいます。虐待の発生予防を担う母子保健担当と、児童虐待相談対応や
要対協の担当部署が強みが一体となり伸びしろのある支援を展開できるように、虐待された子どもやその親の理解
を深めます。

月日	時間	内容	講師	
10/10 (木)	10:00～	オリエンテーション 愛育班の歩みについて	山崎 由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長 (保健師)
	10:30～11:50	児童虐待防止対策について 母子保健・児童福祉行政の最近の動向	笠 真由美	こども家庭庁 支援局 虐待防止対策課 事例分析指導専門官
	12:50～14:10	DV と子どもの虐待対応の理解と対応 (ZOOM)	森田 展彰	筑波大学大学院 社会精神保健学分野 准教授
	14:25～15:45	子ども虐待早期発見と対応、地域と医療の機 関連携、多職種連携	溝口 史剛	前橋赤十字病院小児科
10/11 (金)	9:30～10:15	グループワーク	山崎 由美	母子愛育会研修部長・愛育推進部長 (保健師)
	10:30～11:50	児童相談所から見た母子保健活動の重要性	河内 裕夏	横浜市中央児童相談所 虐待対応・地域連携課係長
	12:50～14:10	子ども虐待対応の機関連携 (要対協の活用) 一重篤事例等事例から学ぶ一	宮島 清	元 日本社会事業大学専門職大学院 教授 現 東松山市子育て支援課
	14:25～15:45	家庭支援センターにおける 予防型支援体制の強化	上野 昌江	四天王寺大学 看護学部・看護学研究科 教授

地域母子保健研修会5

「多機関連携による要保護・要支援児童、特定妊婦の支援」開催要領（ハイブリッド形式）

1. 目的

子育て世代に対する包括的な支援体制の強化として、母子保健と児童福祉部門を一体化した「こども家庭センター」設置後がすすんでいます。虐待の発生予防を担う母子保健担当と、児童虐待相談対応や要対協の担当部署が強みが一体となり伸びしろのある支援を展開できるよう、虐待された子どもやその親の理解を深めます。

2. 期間

令和6年10月10日(木)～10月11日(金)

3. 会場

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 4階研修室
〒106-8580 東京都港区南麻布 5-6-8（東京メトロ日比谷線広尾駅 徒歩約8分）

4. 対象者・定員

母子保健分野、児童家庭母子保健分野、児童家庭分野、児童相談所等に勤務する保健、助産師・看護師・保育士・社会福祉士・心理士等 会場 50名／Web 60名

5. 内容

日程表をご参照ください。

6. 申し込み

本会ホームページ上の申込フォームより、令和6年8月13日（月）～8月30日（金）の期間内にお申し込みください。Web受講については、ビデオツール「Zoom ウェビナー」を使用しているライブ配信です。同一ご所属先から複数名ご参加を希望される場合も、お一人ずつお申し込みください。

7. 受講料

25,300円（税込）※WEB受講生のみ資料郵送料+370円

8. 資料代

2,200円（税込）

9. 受講決定

申込締切日以降10日を目途にメールにて通知いたします。

10. 問合せ先

社会福祉法人恩賜財団母子愛育会 総合母子保健センター 研修部
電話：03-3473-8335 Email：kenshu@aiiku.or.jp